



長岡市若者サポートセンター  
利用者制作によるサポセン通信第2弾、改め



# サポセン Typhoon

サ ポ セ ン タ イ フ ー ナ

## 利用者の皆さんにつぶやいてもらいました！！

大手通りにある超有名な  
歌手（新潟県出身）の歌の  
歌碑ある場所教えて！

サポセンの女性の  
職員さんは過保護に  
接してこられるので  
男としては照れます

藤さん  
こわくないよ  
やさしいよ  
ほんとだよ  
でも・・・

サザエボンに  
さわりたい

調理実習楽  
しい！

女子が増えて  
嬉しいです

機会があれば県内の  
各サポセン・サポステの  
利用者さん合同で  
「しゃべり場」のような  
「集い場」を作ってほしい

明日から  
本気出す！

秋服ほしつ

調理実習を  
週に1回  
やってもらいたい

いつか女の子の  
利用者さん皆で  
食事会ができたら  
嬉しいな(^^)

10kg減を  
目指す！！  
(A.K)

今の利用者さんで  
卒業した人と今でも  
関わりがあります

みなさんたくさんの投稿本当にありがとうございました！

『過去』と『他の人からどう思われているか』を過剰に気にして生きてきた。

大事なのは『今』と『自分を大切にすること』とは頭では理解しながらも、長年通してきた習慣を止められずにことがあるごとに自分を傷つけてしまう。

その事実に今、改めてぶつかっている。

ひとはなぜ、それぞれの場所に生まれてくるのか。  
私はどうしてあんな目にあったんだろう。

淋しい、怖い、悲しい、苦しい、そういった感情達が他の人よりも多い気がして怨んだ。

親を、家族を、教師を、社会を。

でも、苦しみの数が多いって、どうしてわかると言うのか。  
**わかったつもりでいるだけだ。**

その人のことなんて、その人のからだの中を巡ってみなければわからない。

じゃあ私が怨んできた対象は、私自身の幻想や思い込みだったと言うことか。(ん———認めがたい)

ひとの幸せは、結局のところそのひと自身が決めるものかもしれない。

そろそろ卒業したいものだ、見せかけに惑うのは。



『仕事をする』というのも私にとってそういうものだった。  
仕事をするのがまっとうで、仕事をしないのは失格で。  
仕事をしていない私は人間失格だなんて。(ずっと思ってきたこと)

レールに乗れなかった。

その罰として、存在、感情、思考、言葉、行動、全てにおいて自信を無くし続けることを自分に科してきた。

それをし続けてきたのはまぎれもなく『自分』だった。

確かに生まれたところや育った環境は自分では選べなかったかもしれないけれど、そこにずっと執着し続けて、いつか自分は幸せになるというのだろうか？

私はなによりも、**幸せになるべきだ。**

どんな状況にあってもそこに向かい続けるのが生きるということじゃないのか。



昔、人に言われたことが、魚の骨のように喉に引っかかってずっと取れないでいる。

骨には「おまえはダメだ」とでかでかと書いてある。

そのことは「ダメなひとなんてただのひとりもいない」という大事にしたい考えに反するものだ。

どちらを大事にしていくかは他の誰でもなく、自分で決めなければならない。

ひとはもちろん支えになるけれど、骨を抜けるのは泣いてもわめいても自分しかいない。

誰かに抜いてもらうのを待っていたら、一生抜けない。

人間の価値は生まれたときから重い。

それが引きこもり・ニートになったからといって

落ちるわけでは全くない。

愛し愛され生きること。

あたたかな太陽に手をのばすように、その一番好きなものに触れに行きたいと思う。

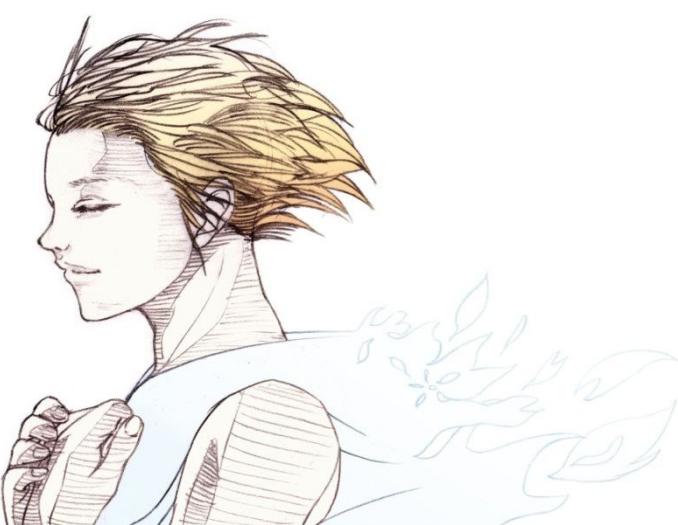
それは今私にとってもう一度、そして今度は自分から、人を信用するということかもしれない。



2012.10.22

## 今、立ち止まっている

### あなたへ



サボテンに感謝している。

私はここで人として大切なことを学んだから。

ニートも引きこもりも、仕事している人となんら変わりのない、フツーの人間だ。

特別視してた私は、二年通つてようやくそれがわかり始めたところ。

仲間に教えられているんだ。

これからも迷惑をかけるかもしれないけど、お互いそんなときがあるのが人間。

それでもまた会って話ができるのがいいよね。

そんなあたりまえのこと、ひとりじゃ到底できなかつたこと。

強がついても笑っていても心は悲しくて泣いていたんだ。

そんな私を受け入れてくれてありがとう。

淋しくても辛くともそのまま生きていっていい。

飾らないことは少し、照れくさいけど。

今日も行く場所がある。

# OB インタビュー～ネホリハホリ～

サポセン OB の方に語っていただくコーナー。

第一回目は就職したてほやほやの “H さん” (26 歳 男性) に登場していただきました。勤めるまでのことを中心にお話に花が咲きました。



H さん、今日はよろしくお願ひします。はじめにお仕事の内容を教えてください。  
はい。通信機器の設置です。

勤めるまでのプランク期間を聞いてもいいですか。  
専門学校中退後五年くらい。この間本当に何もしていない期間は一年くらいです。

サポセンが就活に役立った部分を教えてください。  
相談で履歴書の志望動機を書いたり、面接の練習をたくさんやったことです。プログラムはやっておいたほうがいい。  
例えばスポーツでも練習するが、したからといって勝てるわけじゃない。でも、練習は必要。本番で出来なかったとしても、やっておいたことは無駄にならない。

面接で聞かれたことは？

「プランク期間、何をしていた？」と聞かれ、正直一番あんまり聞かれてたくないところだから想定していたようには言えなくて、自宅に居たことを素直に言っちゃった。「その後就労機関に通い始めてから訓練に行きました」と話しました。

「将来的にはどうなりたいですか？」の質問に「安心して仕事をさせてもらえるようなスタッフになりたいです」と答えた。面接官の反応が一番よかった。

(気になってさらに質問はつづく・・・) 将来について答えたことは本心？

職員さんと考えた答えだった。本音を言えば将来のことなんて分かるわけないじゃんという気持ちもある。

本心じゃないことを言うことに抵抗はある？

抵抗もあるけど面接では演技も必要。職員さんともそう話してた。

なるほど。それは相手の会社の方に対する礼儀というものもありますね。

今の仕事に決めた理由、決め手は何だったのか教えて。

経験、資格不問の求人だったから。他にも候補はありましたね。でも、最終的にこっちのほうが家から近いのでこっちに。ハローワークでも、面接に行かないし、慣れないし、行動がとれないと言われた。よく、練習で行けとも言われる。  
考えていた流れとしては、いくつか受けたってやっと採用されると思っていたのに一発で受かってしまった。あんまり常識が通用しない。きっとだめだと思っても受かることもあるのかな。

初めて仕事に行くときはやっぱり緊張したと思うけど、どんなことを心がけて行ったの？

すごく緊張した。簡単な自己紹介があるのかなと思って色々考えてた。けど、行ったら結局自己紹介といえるものもなかったんだよね(苦笑)

では最後に、まだ就職していない人へのメッセージをお願いします。

自分への後悔がメッセージ。正社員の求人で応募できる求人にもっと早く応募してみればよかったと思っている。自分も絶対正社員なんか無理、パートでもどうせ無理だろうと思っていたが、応募してみてやっとわかった、知ったことがある。やってみる前から無理だろうと思っているひとにはやってみてほしいです。

H さん、どうもありがとうございました。勉強になることばかりでインタビューしながらどんどん会話に引き込まれていく私たちでした。

やっぱり行動した人の言葉はリアルで力がありますね。メッセージにはとても響くものがありました。やってみなければわからない！

私たちの道はまだまだこれからですね。今後一層のご活躍をお祈りしています！

## 編

## 集

## 後

## 記

前回に引き続き、今回は編集長として企画や構成に力を入れました。  
メンバー全員が協力し合い、アイディアを出し合って、充実した紙面を作ることができたのではないかと思われます。  
皆さん本当にありがとうございました。 T.M

思ったより大変でしたが、みんなに協力してもらってできたことに感動！そして編集員のお二人と、お手伝いしていただいた K さんに感謝したいです。きっとこの経験はこれからにも生かされていくと思います。ありがとうございました。

モノづくりの楽しさと面白さと同時に、難しさと大変さを実感できました。  
今回、機会を下さったスタッフ様、一緒に編集作業をした皆さん、協力していただいた利用者の皆さん、どうもありがとうございました。